

都市を音から再発見する不思議な舟旅

都市
楽師
プロジェクト

11/14 [日] SUN

13:30- / 15:00- / 16:30- / 18:00-
(受付は各回 15分前からです。)

各定員
30名
申込先着順

川面から「日本橋」や「常盤橋」といった名橋を至近で眺めたり、くぐったり、
はたまた由緒ある江戸の城壁に近づいてみたり・・・
日本橋川の豊かな環境を、水面から目と耳で味わう非日常の体験。

「都市の音遊び」の達人 鳥越けい子教授をナビゲーターに、
声楽家 辻康介による1600年代のイタリア音楽やカンツォーネで橋裏の音響を実感！
都市を視覚と聴覚で読み解く、日曜日の優雅で不思議な舟旅です。

その場所でしか味わえない！ 名橋たちの音を聴く



鳥越けい子 (青山学院大学教授 / 芸術文化学博士)

東京藝術大学音楽学部(楽理科)卒、同大学院修了。1980年カナダ政府招聘留学、1982年ヨーク大学芸術学部修士課程修了。音文化の調査研究をおこなう一方、「サウンドスケープ」をテーマに、まちづくり、環境デザインから環境教育に至る各種のプロジェクト、都市をフィールドにしたワークショップ等を開催している。専門は音楽学、サウンドスケープ論、環境美学、音・音楽とまちづくり。聖心女子大学教授を経て、現在、青山学院大学総合文化政策学部教授。



辻康介 (声楽家)

独自訳日本語歌詞による1600年頃のイタリア音楽やカンツォーネ等を主に歌う。主宰するプロジェクトDaNemo(ダ・ネーモ)の3つのユニット「VisMelodica ビスメロ」「ネーモー・コンチェルタート」「南蛮ムジカ」の他、「ジョングルーヴ・ボン・ミュージシャン」(中世放浪楽師の音楽)などで活躍。声楽を牧野正人、クラウディオ・カヴィーナ等に師事。国際ロータリー財団奨学金でイタリアに留学。声楽の他にも古楽の理論的基礎を学んだ。国立音楽大学楽理科卒。



常盤橋防災船着場 [集合 / 乗下船]
中央区日本橋本石町 (日銀本店の外堀通り向かい)
(半蔵門線・銀座線「三越前」駅 B1 出口徒歩 1分)
参加費 **3,000円** 雨天決行
(就学前のお子様の同伴・乗船はご相談下さい。)

お申込は、都市楽師プロジェクトWebで <http://toshigakushi.com>

